

生涯学習 がんばっています!

初めてアロマワックスバー作りを体験した女の子。ふれあいひろばでミニソフトバレーを楽しみながら、続けている男子。

今回は生涯学習講座の「アロマ手作り体験教室」と、ふれあいひろば「ミニソフトバレー」に参加された方の声を紹介します。

アロマワックスバー作り体験教室に参加して

戸田結さん

私は、「アロマワックスバー手作り体験」に参加しました。アロマワックスバーとは、火を灯さなくても香りを楽しめるキャンドルの事で、見た目もとってもかわいいです。

アロマワックスバーを作るには、精油という物が必要です。どれもとてもいい香りでしたが、私はワンダリンシトラスとブレイクタイムの二種類で作りました。二種類とも、フレッシュな香りで気分がスッキリしました。次に、アロマワックスバーには、花材をかざります。花材はどれも本物のドライフラワーなどを使います。そして、かざりつけは自分のセンスがためされるので、とてもむずかしかったです。

最後に、私はこの体験に参加してとても良かったです。今まで全く知らなかったアロマワックスバーという物が知れて良かったし、手作りの世界で一つしかない物を作るのは楽しかったからです。またこの体験があったら、参加したいです。



ミニソフトバレーに参加して

安藤鷗市さん

ぼくは低学年のころミニソフトバレーをはじめました。サーブがとどかず泣きました。やめたいと思ったこともあります。でもコーチやお姉ちゃんがサーブのやり方を教えてくれました。今ではねらったところにサーブも打てるようになり、楽しいです。

月に一回なので部活とかがかさなると参加できないのがさみしいですが、いつも楽しみにしています。低学年ばかりで六年生が四人になってしまったので、もっとふえるといいと思います。楽しいのでみなさんも参加してください。

キッズレポート

努力の結果

戸田鈴奈さん

「お願いします」とあいさつをして一礼。いつもの慣れ親しんだ学校の体育館で空手の練習をしています。

私が、スポーツ少年団の空手を始めたのは、幼稚園の年少の時でした。その頃の事は、あまり覚えていませんが、母によると「お兄ちゃん達、カッコいいね。私もやりたい」と自分から言っていたそうです。二年後に開催されるオリンピックの競技になった空手をもっと皆に知ってもらいたいです。

スポーツ少年団の空手は、和道会という四大流派の一つで、主に「形」の競技の練習をしています。昇級審査で合格していけば、帯の色が変わっていきます。私は、五年生の時に、初段に合格し、晴れて黒帯になりました。時々先生に代わって、入団したばかりの小さい後輩達に「形」を指導しています。私が入団したばかりの頃に感じた「カッコいい」と思ってもらえる様な先輩になりたいです。それでも、「空手を辞めたい」と思った事もあります。試合に負けた時は、特にそう思います。

した。「対戦相手が悪かった」、「審判がおかしい」とか・人のせいにしていました。でも本当は違うんです。自分自身の「心」「技」「体」が備わってなかったから負けたのです。今よりも、もっともっと沢山練習しなければ、勝てる試合なんて無いんです。

苦しかったけれど、空手を辞めずに練習しました。その結果、今年の豊山大会では、念願叶って黒帯の部で初優勝しました。嬉しかったです。そして、家には、優勝カップが有ります。毎日これを見て一層、練習する気持ちが高まります。

優勝カップには、歴代の優勝者の名前が刻まれています。自分自身が誇らしいです。小さな後輩ちゃん達が、この優勝カップを手にした時に偉大な先輩や私の名前を見つけてくれれば嬉しいです。

